

『ア ジ ア 経 済』 総 目 次

——第30巻第1号～第12号——

No. ページ	No. ページ
構造転換の実証理論——3財2要素モデルによる分析……………大山道広…1…4	の原油供給システムに関連して……山崎 朗…5…21
資源保有国の工業発展——オランダ病モデルの動学的拡張による分析……久保雄志…1…14	中国革命と周辺・民族問題(Ⅱ)——初期共産党とコミンテルンの民族政策をめぐって……………加々美光行…5…36
中国のインフレーションと経済改革……石原享……2…2	メキシコ近代綿工業の形成における「アヒオティスタ」の役割——1830～53年……………佐藤勸治…6…2
朝鮮解放直後における金日成路線——史料批判をとおしてみた「朝鮮共産党北部朝鮮分局」創設と金日成演説……………鎌木昌之…2…33	タイの経経発展とトラック輸送産業の構造……………齊藤 実…6…20
インド社会像におけるカースト——二つの『後進諸階級委員会報告書』をてがかりに……………押川文子…3…5	中国における都市化の展開と人口・労働力の移動……………巖 善 平…7…2
カースト論への視角とカースト団体……藤井 毅…3…30	韓国の経済成長と産業構造変化の要因分析, 1973～83年……………韓 福 相…7…25
北インドにおける農民階層構成の変動とカースト制——1965年以降……………多田博……3…53	タイ産業連関表による輸入代替と輸出拡大の効果分析…………… <small>スティン・リー</small> ピヤチャート ……7…39
インド革命党の台頭——ウッタル・プラデーシュ州の政治経済変化とカースト……………堀本武功…3…75	経済協力の「評価」の評価……………小野五郎…8…2
北インド村落における中間ジャーティ集団の動向——二重対抗関係を中心として……………福永正明…3…87	「満州国」における農民層分解の動向(Ⅰ)——統制経済期を中心として…風間秀人…8…31
ビハール州政府『後進諸階級委員会報告書』の研究……………山口博……3…101	インド共産党の多民族論——その形成と修正の過程をめぐって……………佐藤 宏…9…2
新民主主義革命の勝利と互助合作化運動の新段階——劉少奇の「農業社会主義」思想批判をめぐって……………小林弘二…4…2	「満州国」における農民層分解の動向(Ⅱ)——統制経済期を中心として…風間秀人…9…18
中国革命と周辺・民族問題(Ⅰ)——初期共産党とコミンテルンの民族政策をめぐって……………加々美光行…4…38	先端技術の時代の技術リンケージと途上国の技術導入…………… 菰田文男…10…11…6
中国における同族組織の展開とその実態——福建省晋江県の施氏宗族と地縁組織の関係…………… <small>石田 浩</small> <small>中田睦子</small> ……4…58	「産業構造」から見る技術移転の評価——韓国の場合を中心に…………… 瀬地山敏…10…11…26
18～19世紀, 上ビルマ土地制度史——規範と現実: その予備的考察…斎藤照子…5…2	中国における技術移転の諸問題… 星野芳郎…10…11…39
石油収入の性格と産油国石油政策——1950年代後半および60年代前半	外国導入技術に対する改良の重要性と条件——インドの事例を中心として…………… 伊藤正二…10…11…58
	タイの産業発展と日本からの技術移転——合繊産業の経験…………… トラン・ヴァン・トウ…10…11…78
	技術移転——問題と理論の現在… 林 武…10…11…93
	台湾経済と華僑資本——「政僑資本」の生成とその実態…………… 涂 照 彦…12…2

台湾の中小企業問題と国際分業——その 華商資本的性格に関する一考察…劉進慶…12…38	
台湾の労働市場と労使関係……………隅谷三喜男…12…66	

<研究ノート>

輸出促進政策と産業構造の変化——オランダ病モデルによる分析の試み…大野幸…1…26	
オランダ病論についての若干の理論的 検討……………今岡日出紀…1…35	
途上国経済とオランダ病——二つの労働市場をとおして……………横山久…1…51	
トルコの都市化と地域特性についての ノート——都市類型と「州内首都市性」を手がかりに……………加納弘勝…2…57	
中国の経済発展地域における農業発展 の新課題——浙江省の事例を中心として……………孫潭鎮…4…88	
ニューギニア高地のインボング族 第 1回 「序」および「地理的背景と 外延的定位」……………塩田光喜…5…64	
ニューギニア高地のインボング族 第 2回 ニューギニア高地における近 代貨幣経済の導入……………塩田光喜…6…38	
劉徳強・大塚啓二郎「労働誘因と生産 責任制」：コメント……………孫潭鎮…7…53	
石油ブームがメキシコの経済構造に与 えた影響——オランダ病理論による 実証分析……………谷浦妙子…7…57	
中国農村における地域間労働力移動の 現状分析——江蘇省農村の事例を中 心に……………大島一二…8…44	
ソ連における労働態度と労働社会学 ——「レニングラード青年労働者調 査 1962～64」を中心に……………材木和雄…8…58	
途上国大都市への人口移動——タイ国 を事例として……………山形辰史…9…37	
ニューギニア高地のインボング族 第 3回 生態環境、物質文化、分業体 系……………塩田光喜…9…46	
セメントプラントによる技術移転上の 問題点についての考察……………高林二郎…10・11…113	
技術移転の対価を決定する諸要因につ いて……………安藤哲生…10・11…126	

現代台湾における民間大企業の所有と 経営——上場企業の分析……………沼崎一郎…12…79	
---	--

<特別連載>

満鉄調査関係者に関する 第31～34回 調査部資料室と大連図書館——昭和14 (1939)年～昭和20(1945)年……………石堂清倫…2…82	
満鉄調査部は何であったか(補遺)……………石堂清倫…5…85	
調査部総合課(Ⅰ)……………野間清…8…79	
調査部総合課(Ⅱ)……………野間清…9…67	

<資料>

韓国の企業集団規制の背景と法制……………李哲松…1…60	
ソ連における経済成長テンポと均衡…名島修三…6…67	
社会主義における経済成長循環 ……………G・W・コウォトコ…7…77	
田口雅弘訳	
図面供与だけでは進まぬ技術移転 ——日本よりインドに対する技術移 転の体験から……………西村洋一郎…10・11…136	
台湾経済発展に関するアンケート調査 (1988年10～11月)……………劉進慶 隅谷三喜男…12…103 涂照彦	

<現地報告>

1988年シンガポール総選挙の顛末 ——PAP「圧勝」の背後にしのび よる「退潮」の影……………清水元…1…70	
イギリスのマイノリティ問題……………安田信之…6…78	

<学会だより>

日本南アジア学会創立の記……………山口博…1…80	
東北地区中日関係史研究会第6回学術 討論会、中国東北地区少数民族経済 史および植民地経済学術討論会……………金子文夫…2…105	

<書評>

J・L・エスポジト編『アジアのイスラ ム——宗教、政治、社会——』……………田村愛理…1…85	
デイヴィッド・C・ポッター著『イン ドの政治的行政官たち——1919～83 年——』……………且祐介…1…90	
W・ドナー著『インドネシアの土地利 用と環境』……………増田美砂…1…95	

ジェームス・P・ピスカトリ著『国民 国家の世界におけるイスラーム』…富田健次…2…111	
S・ミシャル著『アラファト体制下の PLO——銃とオリブの枝のはざ まで——』……………立花 亨…2…114	
C・P・ティマー編『インドネシア のトウモロコシ経済』……………諸岡慶昇…2…118	
L・I・ドルドフ; S・H・ドルドフ 著『ラクシュミーを求めて——イン ド国家の政治経済学——』……………佐藤 宏…3…117	
安田信之著『アジアの法と社会』……………千葉正士…3…121	
R・T・リビィ著『南部アフリカ—— 経済力をめぐる政治学——』……………遠藤 貢…3…124	
E・G・トラウベ著『コスモロジーと 社会生活——東チモールのマンバイ 族における儀礼的交換——』……………杉島敬志…3…129	
P・カルヴァート著『新興国家の外交 政策』……………小谷 暢…4…110	
金泳鎬著『東アジア工業化と世界資本 主義』……………栗林純夫…4…113	
佐藤宏編『南アジア現代史と国民統 合』……………森 利…4…118	
毛利良一著『国際債務危機の経済 学』……………宮島茂紀…5…109	
平松茂雄著『中国と朝鮮戦争』……………小島朋之…5…114	
ナンシー・D・マン著『ガワの名声 ——パプアニューギニア, マッサム 社会における価値変形の象徴論的研 究——』……………栗田博之…6…88	
董志正主編 鐘ヶ江信光監訳 味岡徹 訳『大連・解放40年史』……………松本俊郎…6…93	
G・ホーズ著『フィリピン国家とマル コス政権——輸出の政治学——』…永野善子…7…89	
トン・ディエツ著『危機に瀕する牧畜 民——ケニア・ウガンダ国境の西部 ポコト族における生存戦略と外的干 渉(1900~86年)——』……………佐藤 俊…7…93	
越沢明著『満州国の首都計画』……………西澤泰彦…8…109	

渡辺利夫著『西太平洋の時代』……………小川雄平…8…114	
トーマス・R・H・ヘイブズ著『対 岸の火災——ベトナム戦争と日本 1965~75年——』……………清水知久…8…118	
N・ヴィジャイ・ジャガナタン著『発 展途上国における非公式市場』……………中西 徹…9…96	
梶田孝道著『エスニシティと社会変 動』……………木前利秋…9…102	
服部民夫著『韓国の経営発展』……………鳥羽欽一郎…9…106	
安藤哲生著『新興工業国と国際技術移 転』……………斎藤 優…10・11…140	
丸山伸郎著『中国の工業化と産業技術 進歩』……………南 亮進…10・11…143	
E・パーク; A・ジャミソン編『中国, インド, 日本の技術発展——文化比 較——』……………里深文彦…10・11…145	
スティブン・I・レヴィン著『勝利の 鉄床——満洲における共産主義革命 1945~48年——』……………鐸木昌之…12…118	
小宮隆太郎著『現代中国経済——日中 の比較考察——』……………加藤弘之…12…123	
加納弘勝著『中東イスラム世界の社会 学——第三世界における都市と文化 の社会統合——』……………林 武…12…129	
羽場久泥子著『ハンガリー革命史研究 ——東欧におけるナショナリズムと 社会主義——』……………林 忠行…12…133	

<その他>

特集「発展途上国の産業構造変化 ——オランダ病モデルによる接近 にあたって……………横山 久…1…2	
特集「インドの社会経済発展と中間カ ースト」にあたって……………押川文子…3…2	
発展途上国研究奨励賞受賞作品の講 評……………大野盛雄…7…97 渡辺利夫	
特集「技術移転」にあたって……………伊藤正二…10・11…2	